

令和 7 年 4 月 24 日

令和 6（2024）年度「特に優れた研究を行う
若手教員（DR）」11 人を認定

広島大学では「特に優れた研究を行う若手教員（DR：Distinguished Researcher）」の認定制度により、重点的に研究支援を行っています。

令和 6（2024）年度の DR の公募では、11 人を認定しました（別紙参照）。
認定期間は 3 年間です。

DR の認定は、論文・書籍等の研究業績、外部資金獲得状況、特に優れた業績を上げた研究者に与えられる学術賞受賞歴等のエビデンス（客観的証拠）など、分野特性に応じた多面的な指標により選定しています。

DR に認定されると、派遣に係る旅費（上限 200 万円）と、所属部局への支援経費（上限 100 万円）を措置しています。

【制度の趣旨】

広島大学の研究力強化にあたっては、研究拠点形成と共に個々の研究者による活発な活動が不可欠であり、優れた人材の確保と的確な研究支援を組織的に機能させる必要があります。この目的の達成のため、新たな社会価値創造に繋がる研究に挑戦している若手教員を DR として認定する制度を、平成 24（2012）年度に創設しました。創設以来、これまでに 42 人の DR が認定されています（詳細は以下でご確認ください）。

https://hcfs.hiroshima-u.ac.jp/research-strategy/dp_dr

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室 未来共創科学研究本部 研究戦略部
研究戦略推進部門 宮良 晶子
TEL:070-6645-2583

令和 6 年度認定 DR 一覧

DR : Distinguished Researcher (特に優れた研究を行う若手教員)

配属先	職名	氏名
大学院人間社会科学研究科	准教授 (特定教授)	澤井 努
大学院先進理工系科学研究科	准教授	今任 景一
大学院先進理工系科学研究科	准教授	檜垣 徹
大学院統合生命科学研究科	准教授	鈴木 直樹
大学院統合生命科学研究科	准教授	奥村 美紗子
大学院医系科学研究科	准教授	Chimed Ochir Odgerel
大学院医系科学研究科	准教授	大黒 亜美
病院	講師	河原 大輔
IDEC 国際連携機構	准教授	Simangan Dahlia Collado
IDEC 国際連携機構	准教授	坂田 のぞみ
宇宙科学センター	准教授	稲見 華恵

任期：原則 3 年

計 11 人

DR 澤井 努 SAWAI TSUTOMU 准教授（特定教授）



配属先 大学院人間社会科学研究科

学位 京都大学 修士（人間・環境学）
京都大学 博士（人間・環境学）

専門 人文学 / 哲学 / 哲学・倫理学
人文学 / 哲学 / 宗教学

研究者総覧 研究者総覧のページは[こちら](#)

**研究
キーワード**

倫理的・法的・社会的課題
（Ethical, legal, and social Issues:
ELSI） / 責任ある研究とイノ
ベーション（Responsible
Research and Innovation: RRI）

科学・医学・工学の先端分野で生じる倫理的・法的・社会的課題（ELSI）に関する学際的な研究を行っている。JST 共創の場形成支援プログラムに採択されたプロジェクト「海洋リモートセンシング技術を核とした海洋文化都市共創拠点」では副PL（プロジェクトリーダー）を務めるとともに、2024年度に設置された寄附講座「上廣応倫理学講座」を牽引している。

DR 今任 景一 IMATO KEIICHI 准教授



配属先 大学院先進理工系科学研究科

学位 九州大学 修士（工学）
九州大学 博士（工学）

専門 化学 / 複合化学 / 高分子化学
化学 / 材料化学 / 高分子・繊維材料

研究者総覧 研究者総覧のページは[こちら](#)

**研究
キーワード**

高分子化学 / 機能性色素 / メカ
ノケミストリー / 光応答性高分
子 / 分子マシン / 分子スイッチ

外部刺激に応答して構造や性質が変わる機能性色素とプラスチックなどの高分子材料の研究を行っている。JST さきがけや科研費 基盤研究（B）などを代表として獲得し、総額は1.5億円を超えている。また、文部科学省の卓越研究員や世界で活躍できる研究者戦略育成事業 地方協奏による世界トップクラスの研者育成 第一期教員にも選ばれている。これまでの研究が評価され、令和7年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞を受賞している。

DR 檜垣 徹 HIGAKI TORU 准教授



配属先 大学院先進理工系科学研究科

学位 広島大学 修士（工学）
広島大学 博士（工学）

専門 複合領域 / 人間医工学 /
医用システム

研究者総覧 研究者総覧のページは[こちら](#)

**研究
キーワード** 医用画像処理

画像工学が専門。主に医用画像処理などについての研究を行い、医工連携や産学連携に関する活動を势力的に実施している。質の高い論文（Q1ジャーナルへの掲載、被引用数の高い論文）を執筆して医用情報学分野を牽引し、産学連携においても、複数の企業との共同研究実績や特許の出願および取得、JST A-STEP等の採択経験があり、多方面にわたって積極的な研究活動を行っている。研究費獲得総額は2000万円を超えている。

DR 鈴木 直樹 SUZUKI NAOKI 准教授



配属先 酪農エコシステム技術開発センター

学位 北里大学 学士（獣医学）
広島大学 博士（農学）

専門 農学 / 動物生命科学 / 獣医学
農学 / 動物生命科学 / 動物生産科学

研究者総覧 研究者総覧のページは[こちら](#)

**研究
キーワード** 細菌感染 / 感染制御 / 人獣共通
感染症 / 感染免疫 / 乳牛 / 乳房
炎 / 生乳衛生 / 腸内細菌目 / 腸
内細菌科 / 宿主特異性 / 感染症
診断

家畜感染制御学が専門。獣医師としての臨床経験を活かし、ウシの効率的な乳房炎治療と早期生産復帰に資する迅速診断技術の開発を行っている。農林水産大臣賞や畜産学会奨励賞をはじめとした5件の学術賞受賞や、代表として3,000万円以上の外部資金を獲得（分担・共同提案を含めると1億円以上）の実績がある。「酪農エコシステム技術開発センター」の研究を推進することで、本学が重点的に取り組む5つの事項「President 5 Initiatives for Peace Science」の「途上国の栄養改善に資する畜産業改革による食料安全保障」の推進に貢献する。

DR 奥村 美紗子 OKUMURA MISAKO 准教授



配属先 大学院統合生命科学研究科

学位 東京大学 修士（薬科学）
東京大学 博士（薬科学）

専門 生物学 / 生物科学 / 分子生物学
生物学 / 生物科学 / 発生生物学
生物学 / 基礎生物学 / 進化生物学

研究者総覧 研究者総覧のページは[こちら](#)

研究キーワード 表現型可塑性 / 線虫 / 行動 / 発生 / 進化 / 光 / 光受容体

モデル生物である線形動物（線虫）を用いて、捕食行動の制御と進化や、線虫が光を感知する仕組みの解明に関する研究を行い、進化生物学や神経科学に新たな知見を提供し、大きく貢献している。JST創発的研究支援事業やAMED PRIMEを含む数々の大型プロジェクトを代表として率いており、その総額は7,000万円を超えている。国際的な共同研究にも参加し、ドイツなどの研究機関との強固な協力体制を構築している。

DR Chimed Ochir Odgerel チメド オチル オドゲレル 准教授



配属先 大学院医系科学研究科

学位 立命館アジア太平洋大学
修士（国際協力政策）
産業医科大学 博士（医学）

専門 医歯薬学 / 社会医学 /
衛生学・公衆衛生学

研究者総覧 研究者総覧のページは[こちら](#)

研究キーワード 労働衛生 / 労働者の健康 /
アスベスト関連疾患

労働衛生、公衆衛生、災害時の健康危機管理、アスベスト関連疾患、COVID-19による医療従事者のメンタルヘルスへの影響などを研究テーマとし、国際的な疫学研究や政策提言に取り組んでいる。Lancet誌をはじめとする国際的な一流医学雑誌に多数の論文を発表しており、特に、世界の疾病負担（Global Burden of Disease：GBD）研究において、筆頭著者や共著者として多数の論文を執筆している。また、WHO（世界保健機関）との共同研究プロジェクトにおいて、66,500米ドルの資金を獲得し、COVID-19パンデミック下における災害・健康危機管理の事例研究も実施している。

DR 大黒 亜美 OGURO AMI 准教授



配属先

大学院医系科学研究科

学位

関西学院大学 修士（理学）
関西学院大学 博士（理学）

専門

健康科学 / 生命医療科学 /
生命医療科学

研究者総覧

研究者総覧のページは[こちら](#)

研究 キーワード

生理活性脂質 / 代謝酵素 / 脳機能 / 香り物質 / 毒性

生理活性脂質の代謝酵素に着目した脳機能や脳疾患との関わりについての研究を行っている。JST創発的研究支援事業では、嗅覚情報に依存しないダイレクトな匂い物質の脳影響を明らかにしつつある。本事業に加えて、科研費など計17件、9,100万円の外部資金を獲得。これまでに英文原著論文42報、総説2件を報告。これらの研究成果が評価され、2022年日本毒性学会奨励賞、2024年日本薬学会環境・衛生部会 部会賞・金原賞を受賞している。

DR 河原 大輔 KAWAHARA DAISUKE 准教授



配属先

病院

学位

広島大学 修士（医科学）
広島大学 博士（医学）

専門

医歯薬学 / 境界医学 / 医学物理学・
放射線技術学

研究者総覧

研究者総覧のページは[こちら](#)

研究 キーワード

人工知能 / 医療AI研究 / 強化学習創薬探索システム / 診断・治療支援システム

専門分野である放射線治療の機器開発に加え、医用画像や創薬など医療AIに関わる研究開発も推進している。海外の10施設以上との共同研究を行っており、自身の国際学会での優秀賞に加えて指導学生が国際学会の最高賞を日本人で初受賞するなど国際的に評価も高い。これまでに、筆頭論文総数55本、助成金獲得20回以上の成果も挙げており、広島大学長賞の受賞や、文部科学省 世界で活躍できる研究者戦略育成事業 地方協奏による世界トップクラスの研者育成（HIRAKU-Global）の選抜教員として選定されるなどの評価も受けている。

DR Simangan Dahlia Collado シマングン ダリア コリャード 准教授



配属先

IDEC国際連携機構

学位

国際大学 修士（国際関係学）
オーストラリア国立大学
博士（国際関係学）

専門

社会科学 / 政治学 / 国際関係論

研究者総覧

研究者総覧のページは[こちら](#)

研究 キーワード

国際関係論 / 平和 / 平和構築論 /
国連 / Anthropocene

専門は国際関係論、平和・紛争研究。国際学術誌への査読付き論文35報、単著1冊などの研究成果を発表している。京都の総合地球環境学研究所（RIHN）や英国の経済・社会研究会議（ESRC）から助成を受け、多様な学問分野の専門家と連携して、複数の研究プロジェクトを主導または協働している。これらのプロジェクトは学術的成果の発表にとどまらず、対話や政策提言資料を通じて、関係する政策関係者や実務家へ研究成果を還元している。

DR 坂田 のぞみ SAKATA NOZOMI 准教授



配属先

IDEC国際連携機構

学位

コロンビア大学ティーチャーズ
カレッジ 修士（教育人類学）
ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン
博士（国際教育開発学）

専門

社会科学 / 教育学 / 教育社会学

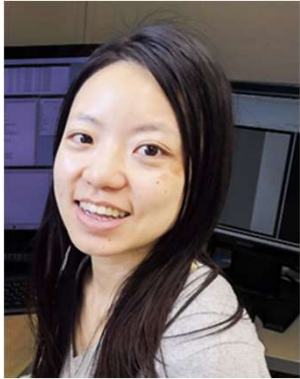
研究者総覧

研究者総覧のページは[こちら](#)

研究 キーワード

国際教育協力 / 比較教育学 /
教授法 / 教育政策分析 / 混合研
究法

専門は比較教育学および途上国における教育開発。IFの高い論文誌のレビューに1年～1年半かかることが稀ではない教育学分野において、博士号取得後5年半以内に16本の査読付国際論文（単著4本、国際共著12本、うち11本で筆頭著者）を出版、また英語での学術本も単著で発表している。米国、英国でそれぞれ修士課程、博士課程を修了し、国際共同研究の抱負な実績がある。



配属先

宇宙科学センター

学位

総合研究大学院大学 博士（理学）

専門

物理学・地球科学 / 素粒子・
宇宙物理・天文 / 天文学

研究者総覧

研究者総覧のページは[こちら](#)研究
キーワード銀河進化 / 銀河形成 / 赤外線天
文学 / 天文学

銀河の形成、進化に関する研究を行っている。最新のジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡（ハッブル宇宙望遠鏡の後継）の初期科学観測プログラムのメンバー。国内外の著名な研究者との交流も活発で、近年多くの招待講演を行っている。米国の10年間の宇宙科学政策に大きな影響力を持つUS Decadal Survey Astro2020において「推進すべき」とされた遠赤外天文ミッションの3つのプログラム候補の一つ、PRIMAミッションの日本チームを、2023年の発足時から代表者として率い、サイエンスケースの取りまとめや国際会議の主催に加え、自然科学研究機構のOPEN MIX LAB 公募研究プログラムへの申請し採択されるなど、リーダーシップを発揮している。